

K. N. 社会システム学科・3 年次生

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

カリフォルニア州での 1 か月間の海外研修（国際課：アメリカプログラム）をきっかけにより長期で留学したいと思い協定留学を目指しました。より大変な環境に身を置くことで自身が成長できると思いました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

IELTS の単語集をとにかく見ていました。また問題になれるように問題集をたくさん解くようにしていました。IELTS は問題に慣れることが重要だと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間にしたこと

◆ 語学学習法

IELTS の単語と BBC ニュースや TEDTALKS を見るようにしていました。TEDTALKS は知らなかった興味深い情報なども得られるので楽しみながら勉強できていました。

◆ ビザ申請方法

海外研修で 2 年生の夏休み前に取得していたのでオンラインで申請しました。それでも間違っはいけないので慎重にフォームに記入しなければならず、量も多いのでかなり時間がかかりました。

④ 現地到着後

◆ 空港から滞在先までの移動手段、所要時間

空港に夜に到着したため、近くのホテルに滞在しました。ホテルに学校のグローバルアンバサダーの生徒と留学生を支援してくれる先生が迎えに来てくれました。ホテルに滞在してもホテルの場所をメールでいえば迎えに来てくれると思います。ホテルから学校までは車で 1 時間弱くらいでした。

◆ 現地でのオリエンテーション期間中にしたこと

新入生と一緒に学校でのルールを聞いたり、ダウントウンを探索したりしました。

◆ その他必要な諸手続き方法

各セメスターの直前や始まった直後に寮費や食費の請求書がメールで届くので、キャッシュカードで払っていました。現地で口座開設をしている学生もいました。教科書もキャッシュカードで払いました。

⑤ 語学研修期間

なし

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学はあまり広くなくこじんまりとした学校でした。私が履修していた授業はほとんど同じ建物での授業でした。学内には図書館があり、夜の 11 時まで空いています。学校はスタントンという小さな町にあり、近くには小さなダウンタウンがあります。

◆ 履修科目について

▶Fall semester

・ MANAGEMENT PRINCIPLES(W)

経営の方法について多角的な視点から学ぶ授業でした。毎週末までに小テストを受けます。また、時々レポートの提出を求められます。授業内容との関連を深めるために実際の企業をケーススタディーとして取り上げその事例をもとにグループプレゼンを一回行いました。授業の最後にはレポートを 2 種類作成し、オンラインテストを受けました。授業内容はとても面白い科目です。

・ MARKETING PRINCIPLES

マーケティングについて学ぶ授業でした。今の経済状況、世界情勢を交えながらの授業だったのでとても良かったです。毎回の授業の前までに教科書を読む宿題が出て毎回の授業でテストを行います。中間と学期末に 2 回大きなテストがありました。

・ MASS COMMUNICATION(S)

様々なメディアの特徴や歴史、ジャーナリズムについて学びました。メディア関連の仕事をしているゲストスピーカーが 2 回授業しました。課題はあまり多くなく、何回かレポートを提出しました。中間と学期末に 2 回大きなテストがありました。学期末にはメディアについて与えられたお題についてプレゼンしました。

・ INTRODUCTION TO SOCIAL WORK

ソーシャルワーカーの仕事やソーシャルワーカーが直面する問題について学ぶ授業でした。数回レポートを書きました。オンラインのテストは 2, 3 回受けました。教授は優しく、テストの時間を伸ばしてくれたりしました。1 週間に 1 回程 4, 5 人程度でディスカッションしていました。

・ MINDFULNESS SELF-COMPASSION

瞑想の仕方や日々の生活でのマインドフルな考え方について学びました。教授がとてもやさしい方で、とても気に掛けてくれました。日本にはあまりない授業なのでとても新鮮で楽しい授業でした。課題はあまり大変ではなく、学期末には授業内で学んだことについてプレ

ゼンしました。

▶Spring semester

• SUSTAINABILITY & BUSINESS

サステナブルな企業活動の実態やサステナブルな企業の経営方法について学びました。企業のサステナブルな活動について 2 回ペアでプレゼンしました。大きなテストは中間と学期末に 2 回ありました。

• FORENSICANTHOLOPOLOGY & ARCHAEO (S)

人類の進化の過程、文化について学びました。毎回授業の終わりにテストやレポートなどを出していました。大きなテストは 2 回中間と学期末にあり、4 択の問題やエッセイなどがありました。人類学の授業で出てくる英単語は難しいですが、習った直後にテストがあるので授業前にしっかり予習することが大切でした。しかし、とても面白い内容だったので取ってよかったと思える科目でした。

• COLLEGE ENGLISH

様々な映画や小説、学術文などを読み解いていくという授業でした。レポートが課されることが多く、こなすのにかなり苦労しました。授業を通して文章を書く力を鍛えられたと思うので取ってよかった授業でした。

• INTRODUCTION TO LGBTQ STUDIES

LGBTQ+の人々が抱える問題や多様性について学びました。日本では習えないような授業だったのでとても新鮮でした。グループでのディスカッションやプロジェクトが多い授業で LGBTQ+の知識もあまりなかったので少し苦労しました。

• GENERAL SOCIOLOGY (S)

社会の構造や問題について学びました。かなり理解しやすい易しい授業でした。先生がとても素敵なので授業はとても面白かったです。テストは三回ほどありレポートは一回あります。あまり難しい物はありませんでした。

• INFORMATION LITERACY

情報の探し方、情報の評価の仕方、活用方法について学びました。レポートを書く際に重要なことをたくさん知ることができました。毎週レポートが出ましたが、あまり大変ではありませんでした。

▶May term

• EVERYDAY MINDFULNESS

瞑想の方法や、自分の感情と向き合い、受け入れる方法を学びました。留学生全員が受講していた授業でした。先生がとてもやさしく発言しやすい雰囲気の授業でした。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

行っていません。

⑧ 現地での住まいについて

◆ 正規科目履修期間

大学内の寮で、2 人 1 部屋で生活していました。秋学期は日本人の学生と、春学期はインド人の学生と部屋を一緒に使いました。トイレやシャワーは共同でした。特に混んでいて使えないということはありませんでした。食事は食事回数ミールプランで食堂やカフェで食べていました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

秋学期と春学期の間の冬休みは、海外研修でお世話になったカリフォルニア州のホストファミリーの家に滞在していました。クリスマスに滞在させていただいたこともあり、ホームパーティーにたくさん参加しました。また、たくさんの観光地に連れて行ってもらってとても有意義な冬休みを過ごすことができました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

ボストンキャリアフォーラムに参加しました。とても良い刺激をもらいました。課題がたくさんあって忙しい時期でしたが、行ってみることをおすすめします。他には ES や自己 PR を書いて、1 day のインターンシップに少し参加したくらいです。卒業を 1 年遅らせるつもりだったのであまり就職活動はしていませんでした。

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

様々なバックグラウンドを持った学生と出会えたことです。とても貴重な経験だったと実感しています。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

アメリカに来たばかりの時は環境の変化についていけずに苦しみました。しかし、授業が開始されてだんだん慣れてくると生活が楽しくなっていきました。

春学期のルームメイトがインド人の学生でしたが部屋で勉強している時に家族とよく電話していて勉強に集中できないということもありました。集中できない時は図書館にいったり勉強していました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

衛生面では机の裏にガムがついていたり、靴のまま椅子に足をかけたりすることなど驚くことがたくさんありました。しかし、だんだんと慣れていきました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

規模の小さな大学だったので学生へのサポートが手厚いと感じました。田舎にある大学の為、観光は長い休暇の時以外はあまりできません。週末には仲良くなったホストファミリーが教会に連れて行ってくれていました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。ほとんどの授業でパソコンを活用していました。シャワー用のサンダルがあると便利です。名前ペンは物に名前を書くときに必要なもので持っていくといいと思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

リスニングは以前より上達したと思います。また、以前は間違った英語を話してしまうことを恐れていましたが、英語を話すことに抵抗もだいぶなくなったと思います。そして、授業では自分の意見を言うことを求められるので自分の考えを言語化する力が向上したと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

少しでも外国に興味を持っている人や海外の大学の授業に興味がある人は協定大学留学という形で留学することを強くおすすめします。

Ⅳ. 将来の目標

今後の進路、将来の目標・夢

将来はメーカーに勤務し、海外とかかわる仕事に携わりたいと考えています。

V. 写真



日が沈む時の大学の校舎の写真です。夕焼けや日が沈む時の大学の風景がとても好きでした。



春学期の最初の頃は雪で授業が休校になることもあり、その時はそりをすることもありました。



春学期の一週間のスプリングブレイクにはフロリダのディズニーランド、ユニバーサルスタジオ、ウォータープールに行きました。とても良い思い出となりました。